

二輪車安全運転全国大会の開催

◆ 二輪車安全運転全国大会2019

令和元年8月3日（土）と8月4日（日）の2日間、三重県の「鈴鹿サーキット」において、二輪車の安全走行を競う「二輪車安全運転全国大会2019」が、34チーム（123名）が参加して開催されました。

島根県チームとしては、県大会成績優秀者の福島朱音選手（高校生等クラス）、草瀬悦子選手（女性クラス）、吉川大志選手（普通二輪クラス）、松尾鉄平選手（大型二輪クラス）が出場し、各県強豪選手の中で大健闘した結果、福島選手が6位、吉川選手が7位、松尾選手がクラス優勝し、団体9位と好成績でした。

◆ 第50回二輪車安全運転全国大会（平成29年度）

平成29年8月5日（土）と8月6日（日）の2日間、三重県の「鈴鹿サーキット」において、二輪車の安全走行を競う「第50回二輪車安全運転全国大会」が、全国の代表47チーム（185名）が参加して開催されました。

島根県チームは、炎天下のなか選手全員が大健闘の結果、団体の部で第22位と昨年（27位）を上回る好成績でした。

◆ 第49回二輪車安全運転全国大会（平成28年度）

平成28年8月6日（土）と8月7日（日）の2日間、三重県の「鈴鹿サーキット」において、二輪車の安全走行を競う「第49回二輪車安全運転全国大会」が、各都道府県代表47チーム（183名）が参加して開催されました。

島根県チームとしては、県大会優勝の小林さつき選手（女性クラス）、櫻井一寛選手（高校生クラス）、吉川大志選手（一般Aクラス）、渡部空選手（一般Bクラス）が出場し、各県強豪選手の中で大健闘した結果、団体の部で27位の好成績でした。